東海村・ひたちなか市は、東電福島第一原発事故現場から約１２０キロメートル、東海第二原発から約１０キロ圏内にあります。

ニュース　**さよなら原発**　第 62 号　　2018. 3. 11 発行

さよなら原発ひたちなか市実行委員会
連絡先：ひたちなか市馬渡 2824-63　佐藤　英一　TEL:029-273-4775
ホームページ：　http://sayonaragennpatu.wixsite.com/mysite

新しい原子力安全協定は
住民の命と暮らしを第一に

【　新協定に盛り込んでほしい事項　】

1　原発事故は、いくら注意しても起こりうること

2　原発事故によって市民は恐怖にさらされ一切を破壊されてしまうこと

3　百歩譲っても、市民の命、財産、地域を守るために以下のことが明記されること

① 原電は加害者の立場にたっていること。原電は、健康な市民ばかりではないことを念頭に置き、96 万人全員が被ばくすることなく避難またはその場で生活継続できる態勢を提供すること

② 避難手段は原電が一切を提供すること

③ 原電は、避難先での住まいや勉学、医療、介護、営業等の条件を確保し、避難者の窮状、生きがい喪失・失意等を軽減すること

④ 96 万人への損害賠償金を原電が確保していること。国費（税金）を当てにしたのでは無責任なこと

⑤ ふるさと帰還希望者に除染と損失補償を行う貯えが原電にあること

4　以上を確認したのちに、市村長の事前承認を受けること

（ 各要件が満たされているか否か
市村長の最終判断が不可欠です。）

古い「東海第二原発」は、廃炉が一番！
◇原発でできた放射能は、消滅する技術がなく、何万年も脅威です。
子どもたちに、安全な未来を
◇原発廃炉へ、廃炉技術を磨くことこそ重要です。

小泉元総理*講演会「私たちの未来を語る」

＊原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟顧問

日時：４月 14 日（土） 午後 1 時開演（12 時開場）
会場：県民文化センター大ホール

入場料：500 円（大学生以下[illegible]）

＜ 呼びかけ人 ＞

五十嵐立青（つくば市長）　今泉文彦（石[illegible]長）
海野徹（那珂市長）　中島栄（美[illegible]）
蓮井誠一郎（茨城大学教授）　原[illegible]（茨城大学教授）
伏屋淑子（社会福祉法人淑徳会理事長）

前売券 完売！

＊チケットは、佐藤（TEL:029-273-4775）へお問い合せ下さい。

ひたちなか市の

東海第二原発への 声 声

皆さんの **声・つぶやき** お寄せ下さい。
TEL/FAX:029-273-4775

代々続く干し芋農家　70 代男性

会員：お忙しそうですね。（ニュース手渡す）
男性：地方から毎日ファクスが入って、もう応じ切れない程、忙しいよ。ひたちなかの干し芋は評判がいいよ。（中略）原発はもう古いから廃炉だ。戦争になったら１番先に狙われるのは原発だし、ここは、原発の大事故が起きたら逃げようがない、福島を見れば分るように逃げても帰って来れねぇ所だ。
男性：ひたちなかの今の市長は、原発に慎重だ。もう一期、頑張ってもらうべぇ。

馬渡　60 代男性

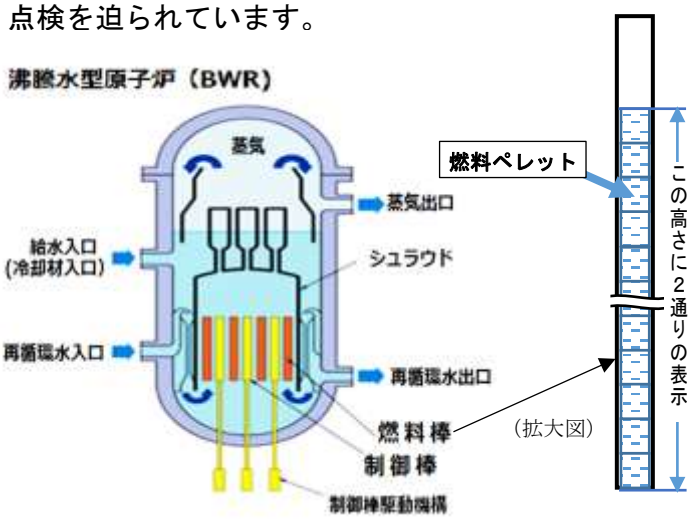
男性：　東海第二は 20 年運転延長だってね。
会員：エー。安全だと言って延長する気です。だけど、自分から「危険だ」と言う会社はないですからね。
男性：（電力会社は）事故を起こしてからでないと、（潜んでいる危険が）分からないんだ。事故の後で、どこそこが悪かったと弁解する。いつもそうだ。事故後の弁解では後の祭りだ。延長だなんて、まったく、危なっかしくて、しょうがないよ。

那珂湊　女性 50 代？　お店で

会員：今度、小泉元総理の講演会があります。原発ゼロで頑張っておられるので、東海第二のストップに、ためになる話が聞けると思います。
女性：いつ？（チラシを見て）、4 月 14 日ね、ポスターはその辺に貼り出して置くわ！
会員：ありがとうございます。

東海第二 燃料ペレットの高さに誤表記

原発の核心である燃料棒（図）の筒に入っている燃料ペレットの頂上の位置を示す数値に 2 通りあることが、運転開始から 40 年近い今回、原子力規制委の指摘で判明。ズサンだとして、関連個所の再点検を迫られています。



放射線測定ボランティア・正治さんが、測ってみると？

2018 2/5（月）ひたちなか市鶴代（つるしろ）。県道 108 号線脇の「工務店」前を東に 250m ほど入った農家の裏手で高木ケヤキ脇。農道の側溝フタの上 1m 高さで測定（以下同じ）。4 年８ヵ月前の同所は 0.75μSv/h だったので、６割まで減少している。農道を挟んだ反対側は 0.14～0.22 μSv/h。また、写真に大きく写っている農道の上では 0.07μSv/h であった。

1）単位は　μSv/h（マイクロシーベルト毎時）。
＊「2011 年の原発事故」前は 0.05～0.02μSv/h。
2）測定器は HORIBA PA1000 Radi ；　測定者は正治。
3）政府の安全基準値は0.23μSv/h である。

セシウムからの放射線は測定を開始した 2012 年 4 月から 3 年後に約半分に減りました。今後は減り方がゆるやかになるので半減するのに約 30 年かかると推定されます。樹木の根元に濃縮されがちなので要注意です。